

各 位

上場会社名	太洋物産株式会社
代表者	代表取締役社長 柏原 弘
(コード番号	9941)
問合せ先責任者	執行役員 総務部ジェネラルマネージャー 宮内 敏雄
(TEL	03-5402-8181)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年5月13日付でお知らせいたしました、「特別損失の計上に関するお知らせ」を踏まえ、平成21年1月13日発表の、平成22年9月期(平成21年10月1日～平成22年9月30日)の第2四半期累計期間、通期の業績予想見通しを下記のように修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年9月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	△20	△80	△85	△10.14
今回発表予想(B)	20,212	△82	△167	△515	△61.43
増減額(B-A)	212	△62	△87	△430	
増減率(%)	1.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	29,456	△1,774	△1,911	△1,796	△241.18

平成22年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	350	200	190	22.66
今回発表予想(B)	44,800	322	142	△160	△19.07
増減額(B-A)	△2,200	△28	△58	△350	
増減率(%)	△4.6	△7.8	△28.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	53,377	△3,432	△3,688	△3,508	△418.35

修正の理由

日本経済は未だデフレ傾向にあり、当社の主力商品であります農畜産品も例外とはいかず苦戦を強いられましたが、「量より質」を重視する営業戦略に転換すると同時に、販売費及び一般管理費等の削減と合理化で経営のスリム化を図り、加工品を始めとする付加価値の高い商品の開発や新規商品の開拓に力を入れて利益率向上を目指してまいりました。しかしながら、食品用大豆におきまして、需要低迷等により予想した利益の確保ができず、又、主力取引先である大豆油糧株式会社の経営破綻による回収不能見込の債権が発生したため、当期間の業績見通しを修正いたします。

なお、平成22年5月6日に大豆油糧株式会社が神戸地方裁判所に民事再生手続の申立を行ったことにより、同社に対する売掛債権の内、回収不能見込額を特別損失として計上いたしました。(平成22年5月13日発表の「特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。)

通期予想につきましては、第70期第2四半期累計期間で立て直した営業方針を実行し、着実な成果は得られるものと予想しておりますが、大豆油糧株式会社における損失を全て埋めることは難しいと考えております。上記特別損失の計上等を勘案した結果、通期の業績見通しについても修正いたします。

(注)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上